

令和3年度 広島県病害虫発生予察情報 予報第5号（水稻）

令和3年8月2日発表
 広島県西部農業技術指導所
 対象期間 令和3年7月下旬～8月上旬



| 1 | | 予報内容（8月上旬まで） | | |
|---------|-------|--------------|------------|---|
| 病害虫名 | | 現況 | 予報 | 防除上の注意事項 |
| 穂もち | 早生・中生 | 並 | やや多 | ◇一部で多発ほ場が見られ、ずり込み被害が見られる。 ◇穂もちへの伝染源となるため、葉もちが発生しているほ場では、直ちに粉剤、液剤で防除する。 ◇穂ばらみ期、穂ぞろい期の穂もちの基幹防除を徹底する。 |
| 葉もち | 中生 | 並 | 並 | |
| 紋枯病 | | 少 | 少 | ◇分けつ数の多いほ場、品種では一部で発生が多い。 ◇高温多湿の気象条件で発生が増加する。 ◇昨年度、発生が多かったほ場は特に注意する。 ●要防除水準：穂ばらみ期の発病株率が、早生品種では10%以上、中生品種で20%以上。 |
| セジロウンカ | | やや少 | やや少 | ◇7月第6半旬の生育ステージは若～中齢幼虫期であった。 ●要防除水準：幼穂形成期から穂ばらみ期に10頭/株以上。 |
| トビイロウンカ | | 並 ※発生なし | 並 ※発生なし | ◇7月下旬巡回調査では、発生は認められなかった。 ◇7月第6半旬まで、予察田（呉市安浦町、東広島市八本松町）での発生は認められていない。 ◇7月第5半旬まで、予察灯（呉市安浦町、東広島市八本松町）への飛来は確認されていない。 |
| コブノメイガ | 中生 | 並 | 並 | ◇早生品種では、通常、穂ばらみ期、穂ぞろい期防除以降は防除は不要である。 ◇中生品種や収穫時期の遅い品種は、被害株率20%を超える場合、粉剤・液剤は発蛾最盛期の7日後、・粒剤は発蛾最盛期に追加防除を行う。 |

| | | | |
|--------------------------------|---|-----|---|
| イネカメムシ | — | — | <p>◇7月下旬の早生品種本田すくい取り調査における発生地点率は、21.6%（148地点中32地点）で、県内南部、中部に広く分布していた。</p> <p>◇防除対策は、7月29日発表の令和3年度広島県病害虫発生予察情報技術情報第3号参照のこと。</p> |
| 斑点米カメムシ類 （カスミカメムシ類、その他加害種）※ | — | やや少 | <p>◇出穂期の防除時期を逸しないようにする。</p> <p>◇出穂期近くになっての畦畔などの除草は、カメムシ類を水田内に追い込むことになる。早生では除草を控える。中生では出穂2週間前までに除草を終える。</p> <p>◇防除時期は、カスミカメムシ類主体の場合、出穂期と出穂期～出穂10日後の間で合計2回、ホソハリカメムシ等のその他加害種主体の場合出穂7～14日後の間で合計2回防除を行う。※カスミカメムシ類はアカスジカスミカメなどの小型のカメムシ類、その他加害種はホソハリカメムシなどの大型のカメムシ類。</p> <p>●要防除水準 2等米への格下げ（斑点米混入率0.1%以上）となる発生量の目安（要防除密度）は、乳熟期のすくい取り調査（20回振り）でカスミカメムシ類4頭以上、ホソハリカメムシ等その他の加害種で2頭以上捕獲された場合である</p> |

2

予報の根拠（巡回調査：7月26～28日、26地点調査）

（1）葉いもち

◆巡回調査結果（北部：少，南部：やや多，中部早生：並，中部中生：並）

| | 北部 | | | 南部 | | |
|-----------|------|------|------|------|------|------|
| | 本年 | 平年 | 前年 | 本年 | 平年 | 前年 |
| 発生地点率 (%) | 0.0 | 44.7 | 16.7 | 60.0 | 53.5 | 60.0 |
| 平均発生程度 | 1.00 | 1.18 | 1.07 | 1.29 | 1.13 | 1.03 |

| | 中部・早生 | | | 中部・中生 | | |
|-----------|-------|------|------|-------|------|------|
| | 本年 | 平年 | 前年 | 本年 | 平年 | 前年 |
| 発生地点率 (%) | 42.9 | 48.5 | 28.6 | 44.4 | 56.5 | 50.0 |
| 平均発生程度 | 1.05 | 1.14 | 1.07 | 1.43 | 1.20 | 1.03 |

（2）紋枯病

◆巡回調査結果（少）

| | 本年 | 平年 | 前年 |
|------------|----|------|------|
| 発生地点率 (%) | 0 | 15.7 | 26.9 |
| 平均発生株率 (%) | 0 | 2.2 | 4.6 |

(3) セジロウンカ

◆巡回調査結果（やや少）

| | 本年 | 平年 | 前年 |
|----------|------|------|------|
| 発生地点率(%) | 66.7 | 84.0 | 92.3 |
| 平均発生程度 | 1.20 | 1.56 | 1.55 |

向こう1か月の気象は発生に好適となっている。

【予察灯（呉市安浦町）での7月21日までの誘殺数累計】本年4頭、平年49.4頭、前年1頭。

(4) トビイロウンカ

◆巡回調査結果（並）

| | 本年 | 平年 | 前年 |
|----------|------|------|------|
| 発生地点率(%) | 0.0 | 3.5 | 26.9 |
| 平均発生程度 | 1.00 | 1.00 | 1.03 |

向こう1か月の気象は発生に好適となっている。

(5) コブノメイガ

◆巡回調査結果（並）

| | 本年 | 平年 | 前年 |
|----------|------|------|------|
| 発生地点率(%) | 11.1 | 18.1 | 69.2 |
| 平均発生程度 | 0.4 | 1.8 | 11.1 |

向こう1か月の気象は発生に好適となっている。

(6) 斑点米カメムシ類

◆予察灯（呉市安浦町）におけるアカスジカスミカメの7月第1～5半旬の誘殺数

| | 本年 | 平年 | 前年 |
|----------|----|-------|----|
| 発生地点率(%) | 50 | 122.8 | 27 |

◆牧草地すくい取り調査結果については発生予察情報第3号を参照する。

「予報」「現況」は、「多～少」の5階級に区分して発表しています。区分の方法は、原則として、過去10年の数値を発生が多かった順に並べて、相対比較しています。

- 「多」 : 1番目（最多年）と同程度以上
- 「やや多」 : 2～3番目と同程度
- 「平年並」 : 4～7番目と同程度
- 「やや少」 : 8～9番目と同程度
- 「少」 : 10番目（最少年）と同程度以下

| 区分 | 多 | やや多 | 並 | | | | やや少 | 少 | | |
|----|---|-----|---|---|---|---|-----|---|---|----|
| 順序 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 |

3

その他の病害虫の発生状況（巡回調査：7月26～28日，26地点調査）

| 病害虫名 | 現況 | 防除上の注意事項等 |
|---------------------|-----|----------------------------------|
| ヒメトビウンカ | やや少 | 出穂前後の防除を徹底する。また，縞葉枯病を発病した株は抜き取る。 |
| フタオビコヤガ (イネアオムシ) | 少 | 穂ばらみ期防除を基本とする。 |

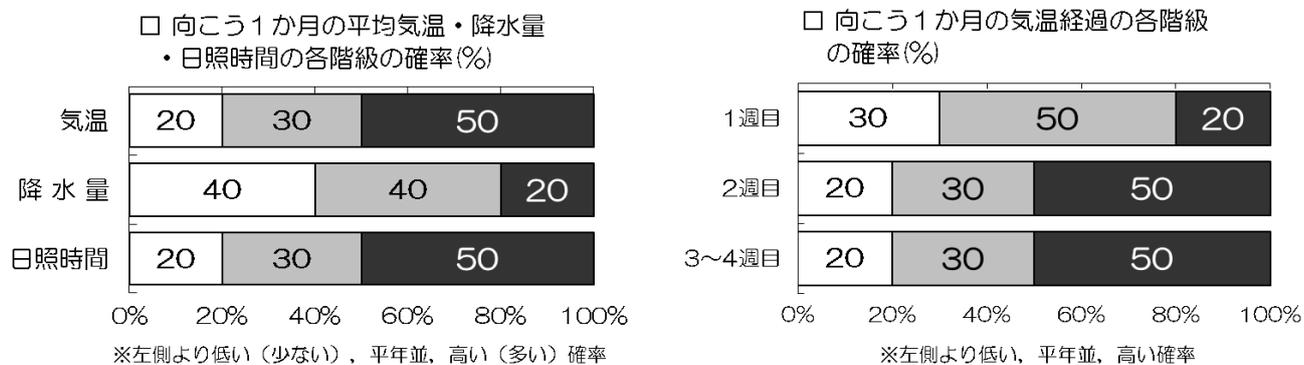
4

気象情報

中国地方1か月予報（広島地方气象台7月29日発表，7月31日から8月30日までの天候見通し）
 平年に比べ晴れの日が多いでしょう。

向こう1か月の平均気温は、高い確率50%です。降水量は、平年並または少ない確率ともに40%です。
 日照時間は、多い確率50%です。

週別の気温は、1週目は平年並の確率50%です。2週目と3～4週目は高い確率50%です。



6月1日から8月31日まで、**農薬危害防止運動** 実施中！

農薬を使う際は、容器のラベルをよく読んで、
 使用方法や注意事項を守り、農薬による危害と事故を防ぎましょう。

● お問い合わせ先

広島県西部農業技術指導所 植物防疫チーム
 東広島市八本松町原 6869
 TEL：082-420-9662（直通）
 FAX：082-420-9665
 メール：wnshidou@pref.hiroshima.lg.jp



糶之進



りもれん

ひろしま農業情報ホームページ（病害虫情報）

(<https://www.pref.hiroshima.lg.jp/site/nougijutsu/#byougaityuu>)